

科目名称	地域の健康支援見てこんけん実習Ⅱ (疾病や障害をもつ人々への支援)	学年学期	単位数	時間数
		2学年 後期	2	90
担当教員	上原 茂相、宇都宮千都、小路陽子	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 () <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

疾病や障害を抱えながら地域で生活する人々に必要な看護や支援、活動内容、それに関わる専門職を知る。

【2】 学習目標

1. 専門職業人を目指すものとしての課題を明らかにして実習に臨むことができる。
2. 疾病や障害を持って地域・在宅で生活する人々のニーズを知り、対象者への支援を理解することができる。
3. 対象者への支援に関わる専門職を知り、どのような連携・協働のもとに事業・活動を行っているかを理解することができる。
4. 疾病や障害を持って地域・在宅で生活する人々に必要な関わりを考えることができる。

【3】 第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
- 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
- 3. 地域の特性を看護に生かす力
- 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
- 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1週目～ 2週目	<p>【がんセンター】 2日間</p> <p>・がんサバイバーの人々が治療と仕事をしながら生活を営んでいくなかで、必要な看護や支援を各専門職の関わりから理解する。</p> <p>【就労支援B型】 2日間</p> <p>・利用対象者である障害や難病を抱えている人々を知る。そして、リハビリテーションや訓練を兼ねた作業内容、社会で働くために必要な技能や知識を身につける福祉施設の役割を理解する。</p> <p>【社会福祉協議会】 4日間</p> <p>・松山市の地域の社会資源を活用した、高齢者や障がい者等要援護者の支援活動内容を理解する。また、学生が地域や福祉に関心をもち、支えあいと助けあいの気持ちを高め、地域福祉について理解を深める。</p>	臨地実習

		1週目					2週目					
		月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
A	1G 5名	がんセンター		就労支援B型		学内	社会福祉協議会					学内
	2G 5名	がんセンター		就労支援B型		学内						学内
B	3G 5名	就労支援B型		がんセンター		学内						学内
	4G 5名	就労支援B型		がんセンター		学内						学内
C	5G 5名	社会福祉協議会				学内	がんセンター	就労支援B型		学内		
	6G 5名					学内	がんセンター	就労支援B型		学内		
	7G 5名					学内	就労支援B型	がんセンター		学内		
D	8G 5名	社会福祉協議会				学内	就労支援B型	がんセンター		学内		
	5名					学内	就労支援B型	がんセンター		学内		

【5】 評価方法

実習終了後に評価の視点を参考に、学生、教員、実習指導者の所見(コメント)で評価を行う。

【6】教科書

実習オリエンテーションで配布した資料および実習要綱

【7】参考書

適宜紹介する

【8】受講生へのメッセージ

この実習で、1年次の「地域の健康支援見てこんけん実習Ⅰ」での学びをつなげ、疾病や障害を抱えながら地域で生活する人々の支援や看護、専門職の役割を学びましょう。